

平成 28 年 12 月 8 日 (木)

ワテラスコモンホール

2016 年 J E A S 第 12 回技術交流会 展示発表

No.	展示会社・団体	展示内容
5	日本工営 (株) 「VR を用いた景観検討」	景観検討においては景観予測を行っており、模型やフォトモンタージュ、CG、VR など用途に応じて様々な手法が用いられてきた。 近年の建設事業における、CIM (Construction Information Modeling) の進展は、従来の景観検討の作業プロセスを変化させるとともに、PC やソフトウェアの進化により、迅速に正確な予測が可能になってきた。また、VR デバイスによる立体表示など表示技術が開発されている。 ■展示技術 ・CIM ソフトウェアを用いた景観予測技術 ・VR デバイスによる景観体験技術

展示風景

